

2022年5月11日

各位

会社名 株式会社 CSS ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 水野 克裕  
(スタンダード市場 コード 2304)  
問合せ先 執行役員 岩崎 善彦  
(TEL 03-6661-7840)

### 第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2021年11月15日に公表した2022年9月期(2021年10月1日～2022年9月30日)の第2四半期業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年9月期第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異(2021年10月1日～2022年3月31日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,216	△146	43	15	3.02円
実績値(B)	5,338	△103	57	39	7.96円
増減額(B-A)	122	43	13	24	—
増減率(%)	2.3	—	31.1	160.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年9月期第2四半期)	5,028	△273	96	△112	△22.35円

#### 2. 連結業績予想の差異の理由

スチュワード事業及びフードサービス事業において、2022年1月初旬のまん延防止等重点措置再適用により第2四半期の売上高は予想を下回ることとなりましたが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が全面解除された第1四半期の売上高が予想を大幅に上回ったことにより、第2四半期累計期間の売上高は業績予想を上回り、営業損失についても予想の範囲内にとどめました。

また、上記に伴い、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、業績予想と比較して増益という結果となりました。

なお、2022年9月期連結業績予想につきましては、2022年3月下旬にまん延防止等重点措置が解除されたことにより、スチュワード事業及びフードサービス事業において需要の回復が見込まれる一方で、空間プロデュース事業における機器不足や物流コストの高騰、急激な円安進行等の懸念材料により、正確に予測することが困難であるため、2021年11月15日に公表した通期業績予想から修正しないことといたしました。

以上